

市民意見募集(パブリック・コメント)の実施結果

1 意見募集の対象

第10次福岡市基本計画(原案)

2 意見募集の実施期間

令和6年9月10日(火)～10月7日(月)

3 閲覧・配布場所等

情報公開室(市役所2階)、情報プラザ(市役所1階)、総務企画局企画課(市役所8階)、各区役所情報コーナー、入部出張所、西部出張所、市ホームページ

4 意見の提出方法

郵送、FAX、電子メール、窓口、オンライン(専用ホームページ)

5 意見の提出状況及び対応

320名、延べ409件
(原案修正:67件、原案どおり:27件、記載あり:229件、その他:86件)

6 提出された主な意見の概要

(1) 総論

- 福岡市全体の分野別目標、空間構成目標と各区のまちづくりの目標が具体的に書かれていてとてもわかりやすいと感じた。MICE、BRTは注釈をつけてほしい。
- 1ページの冒頭に福岡市の歴史的背景があるが、年表等でわかりやすく示した方がいいのではないか。
- 2ページに「都市と自然が調和したコンパクトで住みやすい都市」とあるが、アイランドシティや九大学研都市等の開発が進んでおり、このスローガンの妥当性を再検討してほしい。
- 2ページの図に「都市の活力が生活の質を高める」とあるが、本文に合わせ、「成長の果実により生活の質を高める」とした方がわかりやすいのではないか。
- 8ページの福岡都市圏全体の発展については、福岡市の地価高騰とそれに伴う住居費の上昇によるファミリー世帯の転出が続いていることを記すべきではないか。
- 9ページの「東京圏との同時被災リスクが低い地理的特性」については、科学的な根拠が乏しいので見直してほしい。
- 13ページの「最先端技術の活用の推進」において、デジタル技術の使用が困難な市民への対応等が記されていないため、再検討してほしい。
- これからも市民の意見を取り入れることを大事にしてほしい。
- 「市民意識」について、福岡市の施策との関連を認識しないまま評価される印象を受ける。行政評価とどのように連動させていくのかについても不明確である。

(2) 分野別目標

- 目標1のめざす姿に「性の違い」とある。性自認の違いを指すのであればこれでいいと思うが、性的指向も含むのであれば「性のあり方」等の表現がいいと思う。
- 施策1-1に「女性の活躍」とあるが、国全体で人口減少、高齢化が進む中、男性の活躍もますます重要であり、より大きな概念である「男女共同参画」とした方がいいと思う。
- 少子化→将来への不安の増大→子を持つことへの躊躇といった悪循環も一部起きているのではないか。将来へ明るい希望を持てる施策をお願いしたい。
- 若者が将来に夢や希望を持てるような街という意見が計画に反映されていて嬉しく思う。今後、自分の子どもが夢を持っているいろんなことに挑戦できるような街になってほしい。
- 田舎も都会も平等に、いろいろな新しいお店などがあると良いと思う。
- 区役所の窓口業務を公民館で行うなど、各校区の公民館をもっと利用しやすくなるような取組みを進めてほしい。
- 施策3-3の後半に、「各種訓練の実施」「災害対策の実効性の向上」を加えてほしい。
- 人口減少、高齢化が進む市街化調整区域や離島の活性化が進むように、生活利便性の向上や民間事業者進出の支援など、積極的に取り組んでほしい。
- まちに街路樹などを増やすと、通勤中にも緑が見えて気分が上がっていくと思う。
- 都市という側面を活かし、その中に歴史や自然を融合しているような街になることで東京や大阪などと違った新たな観光地になり、更なる福岡市の発展に繋がっていくと思う。
- インバウンドのマイナス効果が気になるため、外国人に犯罪やモラル、マナー等を知らせるといいと思う。
- 最寄駅から目的地までのバスやシェアサイクル等の乗り継ぎ利便性について、料金体系の共通化や相互案内等を含め、総合交通体系の充実を進めてほしい。
- 施策6-4は、目標6のめざす姿の「国内外の人材にとって仕事の選択肢が充実」や、現状と課題の「活躍できる場の創出」に対応しており、その趣旨を書き加えた方がいいと思う。
- 地元で働きたいが、雇用が少ないために都市部に出る若者が多いため、地域に根付いたベンチャー企業の支援に策を練ると利点が多いと思う。
- 施策7-1で地場中小企業、施策7-3でスタートアップが取り上げられているが、これらをつなぐ施策を盛り込むことが、スタートアップのすそ野を広げる上でも重要ではないか。
- 空港の滑走路増設に伴う発着枠について、企業誘致などと連携した戦略的な活用空港会社と連携して取り組むことで、多様な直行便が就航する魅力ある空港となることを望む。
- 施策8-2の文章は、「外国企業の誘致」を「住みやすいまちづくり」の後に移した方が文脈がわかりやすいと思う。

(3) 空間構成目標

- 地価上昇、都市緑地の減少、交通混雑の悪化はいずれも都市空間の構成に大きく関わるため、空間構成目標の現状と課題に含んでほしい。
- 広域拠点・地域拠点を強化し、天神・博多に来なくても地元で楽しめるユニークなまちが展開されているような都市のあり方も魅力的なのではないかと思う。
- 空間構成目標の主要な拠点の一つとして、福岡空港及び周辺地域も入れてほしい。

(4) 区のまちづくりの目標

- 東区のまちづくりの目標について、九州大学箱崎キャンパスの跡地開発と貝塚公園の整備については、住民の意見を十分に聞き反映させていくことを明記するとともに、市民病院や県立図書館立替移転先、防災公園構想、地下鉄貝塚駅とJR新駅、西鉄香椎線の交通整備、平和資料館や、多目的文化施設等を追記してほしい。
- 博多区のまちづくりの目標に、空港周辺の具体的な課題と解決策を掲げてほしい。
- 城南区は、福岡大学と中村学園大学が立地し、部活動指導などの連動した取組みを始めているが、その他の授業等においても、子どもたちと大学生との交流の場を創出してほしい。

(5) その他

- 「分野別目標」はめざす姿から記されているが、なぜそのビジョンを掲げるかを理解することが難しいため、現状と課題を先に記した方が良いのではないかと。
- 現状が分かるデータが必要で、そこから現状と課題が見え、施策は具体的に書かれるべきと思う。
- 市民意識を表す表がついており、市民の意見が大事にされていると感じる。
- 市民意識になぜ数値が入っていないのか。
- 小中学生の意見を反映していたり、福岡市の役割が載っていたり、若者が取り組みやすい課題も載っていたりして、住みやすいまちにするための課題解決を進めやすい計画案になっていると思う。